

柏崎体育

第8回 再び柏崎に決定 (35年度) 再び柏崎に決定

五月三日長岡市での県連合青年団代議員大会で来年度第八回新潟県青年大会を満場一致柏崎で開催する決定した。第一回大会を当市で開催し、昨年第六回大会を八月二十九日より三日間選手約300人、役員100人を集めて再び当市に於いて開催されたがその技術的運営、地元の熱意が功を奏し、第八回大会も開催することとなつたのである。

尚本年は八月二十九三十、三十一日の三日間、新潟市において開催することとなつたのである。

尚本年は八月二十九三十、三十一日の三日間、新潟市において開催することとなつたのである。

再び米山地区の 体育的開発について

月 橋

奈

私はかつて本紙上に「米山地区的体育的開発」と題する小論をのせた事がある

上米山村の合併が昭和二十

五年であり、当時今日の様な広大な地域が市に合併し

鯨波、高田を含めて、米山

地区を最も早く開発するも

のは体育的手段であると考

えたのである。地下資源に少

なかつたが、上米山、米山

漸く脚光を浴びるに至つた

自然愛護の精神を想起出し

て来た、その結果が県立自

然公園となり、米山地区も

うな欲求境が来たもの、又

は出来るものと早合点して

いる人が余りにも多いのに

事あら、自然公園といふの

は、所謂温泉が象徴するよ

うな欲求境が来たもの、又

はその語句が明確に表明し

つても高が知れている。残

るのは、自然といふ条件

乏しく、人口又極度に少い

この地区は、林産資源とい

つても高が知れている。残

なるほど居た居た。しかし一人ではなしに、別々に二人走つてゐる、その一人はおなじみの北角昌利君であり、もう一人は白のランニングパンツ一つの素裸で汗を流し乍ら走つてゐる三十才位の男であります。

私は高校側のクローバーの上に立つて、北角君と話しづら眺めて居ました六時半になると、その男は走るのをやめて西運動場裏の水道栓をひねり、先ず頭を水で洗い、すつかり体を水で流してゐました。私は急いで夫

実践家めぐり

(6)

桑山良夫

紫樓

はどうで
側で後をぶり返つて
ません、
と 桑君は再び体操を
ンドの片隅で体操をして居ります。夫れは
て天のと
うされま
り、比角
をおり
たり、鉄
た。 に頓着しない、全身
ちやくちやに揉む事
烈な体操振りであり

○米山登山競走大会 昭和二十二年からと記憶するが米山登山競走を開催した。主催は体育団で、市が後援となり、米山の体育的開発がそのねらいであった。方法は六人一組で最後の者のタイムがそのチームのタイムとなり、事故に備え、繩の携行を許した。途中その繩を使って六人同志の間なら引っ張ろうとかつごうと如何なる事をやつてもよい事となつていい。チーム以外の者から引っ張つてもらつたり自転車等の後につかまつて走つたりした場合は失格である。第一回は上山山村吉尾(現在市内)の青年団が優勝した。たしかタイムは二時間七分いくらかと思ったが、そのコースたるや大したものである。鉢崎駅前をスタートし、太平、頂上、払川、谷根、の各閑門を通り、青海川駅前をゴールとした。このコースを二時間八分以内に走るという事は、全コトスを走り抜かなくてはなら

漫 柏崎アルバス③ 筆



いるが大会は終了し青海川駅前の本部（旅館）で中食をすませ、厚生課の自動車に乗って帰途についた。運転助手台に体育団長洲崎義郎（この時はまだ市長になつてない）後に副園長月橋套（当時厚生課長）其の他池田浩也、入沢又治、土田幸治等の面々が乗つていた。乗っている連中全部一杯きこしめていたからたまらない。名にし負う八号トランセル入口の魔の若宮踏切にかゝり美事に貨物列車と衝突してしまった。運転手のハンドルの切り方がよく真後から打突かられ、西部劇の活劇よろしく自動車は後部を粉々にされ、一米位地上より上つた所を海へ向ってぶっ飛んだ後部に乗つていた車の中はさすがにスピードマンだけあって瞬間バット跳び下り一同無事洲崎団長は車と共に飛ばされ、海岸の崖の上に前部を突き出して車がとまつたためこれ又無事、その時ドアで打って傷つけた跡が今でも鼻にあざの様になつてはつきり残っている。自動車は使い物にならないので現場に残し一同その貨物列車に残りました。

踊座 民育 体講 出雲崎 おけさ 由來

けさ
ら八百年前の建久
忠信の母「音羽
（今の尼瀬町善勝
浦の戦に参加して
しさに、お袈裟を
した。これが此の
す。これが佐渡に
不おけさ、或は柏
の役員は
石黒 武久
田鹿 直一
佐渡五旅館内渡辺
五郎兵衛
月五〇円

(右に出て) 中心に向ったまま右に開き手を側に開く
(チヨン) 左足を右足に引き寄せてチヨンと拍手一つ
(左に戻って) 左足を左足に開き手を側に開く
(チヨン) 右足を左足に引き寄せて、チヨンと拍手一つ
(右に出て) (チヨン)
①と同じ
②と同じ
(一〇の) 左(時計廻り)に向き左足を輪の外側に開き
両手を(左手稍高く右手を 稍低く)開く(顔を右手に向ける)
(二〇の) 右手を顔より高くかざし右手を掌下にして体前にとり右足を左足の前に運ぶ
(三つの) 両手を体前にて手頸内廻わし掌を上に向けて側に開き(右手稍高く左手稍低く)右足を輪の内側に開く(顔を左手に向ける)

(四つの)
右手を額より高くかざ
手を掌下向とし体前に
左足を右足前に運ぶ

(五つの)
両手を肩巾に揃えて大
画くよう額前を通り
流しながら、左足を輪
側の方に運び体を右に
後向きの準備をする

〔註〕五つの、六つの
つ、にて後向きとなり
廻わりの方に向く

(六つの)両手を大波
うに左から額前を通し
下に流し
右足を時計廻わりの方
運ぶ

(七つの)
両手を大波の如く体前
の高さ位)を通して左
に流し左に体を捻り、
を反時計廻わり進行方
出す

(八つの)
進行方向(反時計まわ
に向つて、両手頸を体
て内廻として尙手を上
げ右足を側(輪の外)
す

(九つの)
右手を額より高くかざ
手は掌を下にして体前
り、左足を右足の前に
す

(十の)
両手を斜方に伸ばし
右足を前に出す

(十一)
〔14〕の反対

(十二)
〔15〕の反対

(十三)
両手を後ろ下に流し
左足を進行方向に(右
前)に出す

以下①より返して

踊る
 足を
 運ぶと左
 前に向
 に出る
 向右に
 斜下足
 (顔
 向け
 右斜
 のよ
 時計
 、七
 波を
 左に
 中の
 振り
 とり
 左

県下リレー・カーニバル 22種目に熱戦展開

新潟県陸上競技協会主催
柏崎体育団後援、柏崎陸上競技場で三回戦の第十一回県下競技会主催のトーナメントが参加して熱戦を繰り広げた。各種目決勝成績次の通り

男 子

◇百米	①大宮芳夫(中大)	11秒1
◇四百米	①赤沢敏夫(柏商)	52秒6
◇五百米	①小島徳治(直江津高教)	53秒5
◇百メートルリレー	②若槻(新井高教)	4分16秒3
◇二百メートルリレー	③佐藤(新大)	4分21秒2
◇四百メートルリレー	④大宮芳夫(中大)	23秒4
◇五百メートルリレー	⑤山崎(柏高)	37秒5
◇一千五百メートルリレー	⑥山田昭吾(長崎)	44秒6
◇三千五百メートルリレー	⑦山崎(柏高)	46秒3
◇四千五百メートルリレー	⑧山崎(柏高)	46秒9
◇五百メートル走	⑨大木慎一(白山高)	16分10秒2
◇一千五百メートル走	⑩小山(柏高)	16分10秒8
◇二千五百メートル走	⑪深尾(北越製紙)	16分30秒0
◇三千五百メートル走	⑫曾田(柏高)	16分40秒4
◇四千五百メートル走	⑬山崎(柏高)	16分40秒6
◇五百メートル走	⑭山崎(柏高)	11秒57
◇一千五百メートル走	⑮山崎(柏高)	11秒37
◇二千五百メートル走	⑯山崎(柏高)	10秒37
◇五百メートル走	⑰山崎(柏高)	13秒91
◇一千五百メートル走	⑱山崎(柏高)	13秒65
◇二千五百メートル走	⑲山崎(柏高)	13秒59
◇五百メートル走	⑳走	13秒65
◇一千五百メートル走	㉑走	13秒65
◇二千五百メートル走	㉒走	13秒65
◇五百メートル走	㉓走	13秒65
◇一千五百メートル走	㉔走	13秒65

女 子

◇百米	①佐藤ヒロ子(水原高)	13秒6
◇二百米	①馬場恵美子(水原高)	28秒5
◇四百米	①飯塚(常盤)	34秒5
◇五百メートル	②佐藤ヒロ子(水原高)	46秒1
◇一千五百メートル	③飯塚(常盤)	53秒7
◇五百メートル走	④佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇一千五百メートル走	⑤佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇五百メートル走	⑥佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇一千五百メートル走	⑦佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇五百メートル走	⑧佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇一千五百メートル走	⑨佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇五百メートル走	⑩佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇一千五百メートル走	⑪佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇五百メートル走	⑫佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇一千五百メートル走	⑬佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇五百メートル走	⑭佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇一千五百メートル走	⑮佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇五百メートル走	⑯佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇一千五百メートル走	⑰佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇五百メートル走	⑱佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇一千五百メートル走	⑲佐藤昌子(常盤)	1秒35
◇五百メートル走	⑳走	1秒35
◇一千五百メートル走	㉑走	1秒35
◇五百メートル走	㉒走	1秒35
◇一千五百メートル走	㉓走	1秒35
◇五百メートル走	㉔走	1秒35

柏崎バレー ボール祭

柏工Aが優勝

柏工惜敗す

上越高校バスケット

柏商高が男女共優勝

春季庭球地区大会

柏商高が男女共優勝

誰が為に雨は降る

(昭和二八年度の卷上)

今

朝

雄

続く六番五十嵐は左前に七番難波は遊前内野安打と脚をとられた野手の間に幸運の安打が続いて忽ち三点を加えこゝに五対一試合は決したかの線があつたがその裏二中の攻撃は絶対の球主義、一番杵淵を絶対の待機、二番杵淵を絶対の待機で打ちとつて一死は得たが後は駄目、遠藤、大野上杉、吉野と連続四球で押し出し点差一死満壘、六番は主将、投手の根立、気負つて打つて遊ゴロ、しめたと思つたら本壘悪投で、あと二点差一死満壘、高橋三振で二死三井田一、三から四球で押し出し差一点、牧岡二三から四球、遂に同点、一番杵淵に打順は一順、ボーラー、ボール、ストライク、スライク、ボール、で、文字通り同点、最終回二死満壘、ソウ、スリ、運命の一球はじめて杵淵のバントが動いた、捕手の頭を傷かに越えた邪飛、もう一球の勝負、それが一邪飛まさに天祐の一瞬だつた。しかし、この雨の中誠に皮肉同点となつてしまつた、引き合はれ試合が当然のなりゆき、六回表、中前安打、四球、暴投、四球、暴投、暴投、こゝで更に右翼高橋登板、しかし足もどろき、よくもそろは一球毎手拭てふいて投げ始末、誰がやつても投げじ事四球、暴投、遊失、三振でやうやく一死、しかし三振でやうやく攻撃終了八点追加の計一三点、その裏前安打、四球で既に六点、こゝで根立再び登板、四球忽ち無死満壘審判の上衣からしづかがたれる。グラウドの端には小川が出来る始末、しかし両軍全株を挙げての応援は一人も立ち去らない、石黒監督は「誰が投げても同じだ、相沢以外激励して統投を強いる。答える相沢は五番吉野を三振

に打ちとつて一死をとるもつづいて又四球、四球、で二番押出し、危機打者谷口を三振で二死、しかし続ぐ危機打者小冠者吉浦又四球で三点、まだ五点あると思つたら本壘悪投で、あと二点差一死満壘、打者は二死三井田一、三から四球で押し出し差一点、牧岡二三から四球、遂に同点、一番杵淵に打順は一順、ボーラー、ボール、ストライク、スライク、ボール、で、文

字通り同点、最終回二死満壘、ソウ、スリ、運命の一球はじめて杵淵のバントが動いた、捕手の頭を傷かに越えた邪飛、もう一球の勝負、それが一邪飛まさに天祐の一瞬だつた。しかし、この雨の中誠に皮肉同点となつてしまつた、引き合はれ試合が当然のなりゆき、六回表、中前安打、四球、暴投、四球、暴投、暴投、こゝで更に右翼高橋登板、しかし足もどろき、よくもそろは一球毎手拭てふいて投げ始末、誰がやつても投げじ事四球、暴投、遊失、三振でやうやく一死、しかし三振でやうやく攻撃終了八点追加の計一三点、その裏前安打、四球で既に六点、こゝで根立再び登板、四球忽ち無死満壘審判の上衣からしづかがたれる。グラウドの端には小川が出来る始末、しかし両軍全株を挙げての応援は一人も立ち去らない、石黒監督は「誰が投げても同じだ、相沢以外激励して統投を強いる。答える相沢は五番吉野を三振

をとられた野手の間に幸運

の安打が続いて忽ち三点を

加えこゝに五対一試合は

決したかの線があつたがそ

の裏二中の攻撃は絶対の

球主義、一番杵淵を絶対の

待機、二番杵淵を絶対の

待機で打ちとつて一死は得たが

後は駄目、遠藤、大野上杉、吉野と連続四球で押し出し

吉野と連続四球で押し出し

吉野と連続四球で